

# 地下水バイパス揚水井の汲み上げにおける一時貯留タンク に対する評価結果について(その1)

＜参考資料＞  
2022年1月25日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【各揚水井のトリチウム濃度】

トリチウム濃度 (Bq/L)	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 10揚水井 運転状況
2015. 11. 12 (木)	6.9	/	12	/	50	/	37	/	採水なし	2000	720	/	汲み上げ中
2015. 11. 16 (月)	/	8.4	/	24	/	66	/	採水なし	/	2800	/	220	汲み上げ中
2021. 12. 9 (木)	11	/	35	/	22	/	19	/	130	270	470	/	汲み上げ中
2021. 12. 13 (月)	/	23	/	※2	/	20	/	65	/	310	/	170	汲み上げ中
2021. 12. 16 (木)	14	/	43	/	16	/	23	/	130	320	430	/	汲み上げ中
2021. 12. 20 (月)	/	21	/	18	/	20	/	68	/	330	/	180	汲み上げ中
2021. 12. 23 (木)	10	/	42	/	18	/	21	/	140	340	430	/	汲み上げ中
2021. 12. 27 (月)	/	22	/	14	/	※2	/	59	/	340	/	160	汲み上げ中
2021. 12. 30 (木)	13	/	40	/	19	/	20	/	120	350	440	/	汲み上げ中
2022. 1. 3 (月)	/	24	/	17	/	21	/	60	/	350	/	170	汲み上げ中
2022. 1. 6 (木)	15	/	39	/	※2	/	26	/	140	350	450	/	汲み上げ中
2022. 1. 10 (月)	/	22	/	18	/	18	/	63	/	340	/	170	汲み上げ中
①2022. 1. 13 (木) ※1	15 ※3	22	32	18	20	18	24	63	120	350	460	170	汲み上げ中
②トリチウム上昇傾向評価用	15	22	32	18	20	18	24	63	120	1150	460	170	

※1 No. 10以外については隔週でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い週は前週の濃度に基づいて評価している。

※2 汲み上げ停止等に伴いサンプリングを中止しており、当該ピットの濃度を一時貯留タンクの濃度評価に用いていない。

※3 汲み上げ停止等に伴いサンプリングを中止していたため、至近の結果を用いて評価している。

## 【各揚水井の汲み上げ比率】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	計
③ 汲み上げ比 ※4	0.42	0.15	0.21	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.04	1.00

※4 No. 1～12: 至近の汲み上げ実績をもとに算出。

(1/19(水)～1/20(木))

## 【評価結果(一時貯留タンクのトリチウム濃度)】

一時貯留タンク内  
トリチウム濃度

2022. 1. 6 ※6	0.0	4.9	8.7	2.6	0.0	0.5	2.1	4.7	15.6	28.8	4.2	5.1	77.3
2022. 1. 10 ※6	0.0	4.5	8.7	2.8	0.0	0.5	2.1	4.9	15.6	28.0	4.2	5.1	76.4
2022. 1. 13 (①×③)	6.3	3.4	6.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	7.1	33.9
トリチウム上昇傾向評価用 (②×③) ※5	6.3	3.4	6.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	7.1	33.9

※5 「トリチウム上昇傾向評価用」とは、2015年の11/12から11/16までの上昇傾向が継続すると仮定したトリチウム濃度を設定し評価したもの。

※6 参考(前回、前々回評価結果)